

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	障害者医療体制の整備					款 04	項 01	目 03	事業 068	整理番号	191
現担当課名	障害者施策課					係名 管理係	連絡先 1148	昨年度 整理番号			
上位施策No・施策名	13	地域医療体制の充実					予算事業区分	既定事業			
事業開始	令和6年度	実行計画事業	分野 04	施策 13	計画事業 05						
令和6年度 担当課名						事業評価区分	一般				

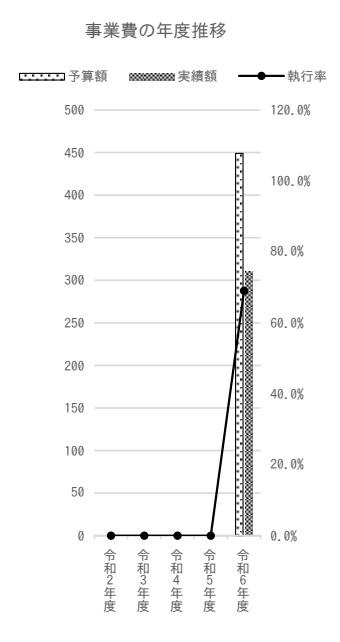
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 児童福祉法 医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	○障害者の高齢化及び障害の重症化が進む中、小児から成人に切り替わる時期における円滑な診療科移行及び医療的ケアが必要な障害児（者）の医療体制整備を図ることをめざす。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度				令和5年度			
				計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績
	障害者医療をテーマとした講演会の開催		回	-	-	-	-	-	-	1	1
				計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績
				-	-	-	-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-	-	100.0%	-
				-	-	-	-	-	-	-	-
成果指標	区内で重症新障害児者、医療的ケア児者の訪問診療が可能な医療機関数	令和5年度「在宅療養ブック」で障害児（者）を診療する医療機関（133医療機関数中、18医療機関）	所	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績
	分類	社会成果（課題）指標		-	-	-	-	-	-	18	20
				計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績
				-	-	-	-	-	-	-	-
	分類			-	-	-	-	-	-	-	-

事業費	単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額
	千円	-	-	-	-	-	-	449	2,004				
人件費	常勤職員分（再任用含）	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額
	千円	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	上記以外の職員	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額
	千円	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総事業費	予算額	-	-	-	-	-	-	449	2,004				
(事業費+人件費)	実績額	-	-	-	-	-	-	310	-				
	執行率	-	-	-	-	-	-	69.0%	-				
財源	受益者負担分	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額
	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	国・都からの補助金	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額
	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他の補助金等	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額
	③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	特定財源	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額
	(①+②+③)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	差引：一般財源	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額
	(総事業費-特定財源)	-	-	-	-	-	-	449	2,004				
	執行率	-	-	-	-	-	-	69.0%	-				



特記事項

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
			回	219
	障害者医療体制整備検討会の開催	1	回	91
	移行期医療に関する普及啓発研修の開催	1	回	91
	その他 ()			0

取組成果	<p>障害者医療の体制の充実を図るため、区と医師会が検討会を開催し、障害者の高齢化や重度化に伴い、身近な医療機関に転院が困難となるケースや医療的ケア児者の短期入所先が遠方となっている現状、障害児者の受け入れのための人材育成などの課題を議論しました。</p> <p>医師会と障害者医療をテーマとした研修会を共催し、在宅訪問診療の活用と地域連携についての知識を高めるとともに、医療的ケア児のレスパイト入院の受け入れについて他地域の先行取組を把握し、レスパイト先確保の重要性の認識を深めました。</p> <p>区内の医療機関へ働きかけの結果、令和7年度に18歳以上の医療型短期入所を区内で1所開設することになりました。開設にあたり、医療機関に区民優先利用やマンパワーの確保にかかる初年度の補助を行うことで、利用者の安定的な受け入れを支援します。</p>
------	---

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	<p>重症心身障害児や医療的ケア児の成人期への移行に向けて、身近な地域で移行期にある障害児をスムーズに受け入れる体制の充実が必要です。令和7年度は課題解決に向けて区と医師会等が協議し、医療機関につながることが難しい区民を在宅療養支援診療所につなぐことができる具体的な方法について検討します。</p> <p>区はこれまでの取組で当事者保護者や医療機関から意見を聴きとつてきましたが、当事者とその保護者、医療機関、区による情報交換や相互理解する機会が必要であることから、座談会を開催します。</p> <p>令和7年から開設する18歳以上の医療型短期入所については、安定した利用者の受け入れができるか把握し改善が必要な場合はそれに努めます。また、18歳未満の重症心身障害児や医療的ケア児についてはレスパイト先の確保が課題です。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	<p>障害者医療体制整備検討会では、移行期にある障害児を身近な地域でスムーズに受け入れる体制を整えるため、在宅訪問診療所につなぐ相談方法や相談窓口について検討します。</p> <p>区内医療機関と当事者とその家族による座談会の開催は、医療者と家族がお互いの状況を理解し、意見が交換できる機会となっています。</p> <p>医療型短期入所施設の開設によって、区内で短期入所の利用が可能になり、利用する家族の安心に繋がっています。医療型短期入所の開設に係る補助については、東京都の認可の手続き等に時間を要したことや、受け入れ開始に向けた準備のため、補助金の執行状況は予測より下回っています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>障害者医療体制整備検討会については、移行期にある障害児の在宅療養の推進に向けた検討を継続していきます。また、在宅医療推進連絡協議会と連動し、在宅療養において多職種連携が進むよう働きかけます。</p> <p>障害者医療に関する普及啓発に係る講演会等については、地域の課題の理解を深める必要があることから令和8年度も継続し開催します。</p> <p>障害者医療の体制を整備するため、医療型短期入所の安定的な確保や、小児のレスパイト入院先の確保については継続して検討を進めています。</p>

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	障害者医療体制整備検討会や普及啓発のための講演会や座談会については、現状の予算額を維持します。区内の医療型短期入所については、開設2年目になることから初年度補助金はなくなりますが、1年間を通して利用人数が見込まれることが予測されるため現状の予算額を維持します。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	引き続き課題を分析し、国や東京都の取組等も踏まえながら障害者医療体制の整備に寄与する取組を進めています。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	救命救急体制の充実					款 04	項 05	目 01	事業 009	整理番号	295
現担当課名	健康推進課					係名	医療連携担当		連絡先	内線4528	昨年度 整理番号
上位施策No・施策名	13	地域医療体制の充実					予算事業区分	既定事業			
事業開始	平成16年度	実行計画事業	分野	04	施策	13	計画事業	01			
令和6年度 担当課名	健康推進課					事業評価区分	一般				

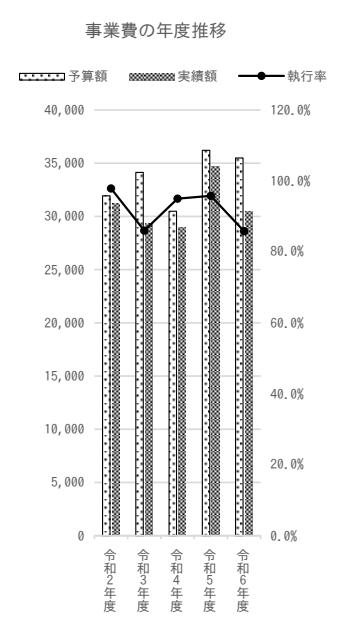
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 杉並区急病医療情報センター運営要綱 地域における初期救急対応力整備要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段) ○区民の急病時の不安解消を目指して、24時間365日病院探しに困らない体制を整える。 ○緊急時に応急手当ができる区民の養成やA E D の配置により、初期救急対応力の向上を図る。 ○医療機関への相談・苦情に応じることにより、区民が安心して医療を受けられる環境を整える。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

	指標名	指標説明	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	急病医療情報センターの利用件数	急病医療情報センターの入電件数	件	計画	12,000	12,000	12,000	12,000
				実績	5,839	9,574	8,985	-
				達成率	48.7%	79.8%	74.9%	-
成果指標	救命講習受講者数	応急手当普及のために区が行った救命講習受講者数	人	計画	3,000	3,000	3,000	3,000
				実績	2,325	2,295	1,993	-
				達成率	77.5%	76.5%	66.4%	-
成果指標	救急医療体制に安心感を持つ区民の割合	区民意向調査による	%	計画	73	74	75	76
	分類 区民満足度指標			実績	67.5	71.3	68.6	-
	救急協力員（すぎなみ区民レスキュー）登録者数			達成率	92.5%	96.4%	91.5%	-
成果指標	分類 行政サービス成果指標	救急協力員（すぎなみ区民レスキュー）累計登録者数	人	計画	5,000	5,500	6,000	6,500
				実績	5,174	5,718	6,305	-
				達成率	103.5%	104.0%	105.1%	-

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
事業費	千円	予算額	31,935	34,133	30,483	36,209	35,489	61,427
		実績額	31,256	29,354	28,959	34,688	30,464	-
		執行率	97.9%	86.0%	95.0%	95.8%	85.8%	-
人件費	千円	予算額	1,744	3,401	3,337	3,327	3,348	3,422
		実績額	2,126	4,922	4,242	4,018	3,594	-
		執行率	121.9%	144.7%	127.1%	120.8%	107.3%	-
上記以外の職員	千円	予算額	7,700	7,256	8,820	9,563	9,898	12,072
		実績額	9,070	7,350	9,563	9,898	12,072	-
		執行率	117.8%	101.3%	108.4%	103.5%	122.0%	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	41,379	44,790	42,640	49,099	48,735	76,921
		実績額	42,452	41,626	42,764	48,604	46,130	-
		執行率	102.6%	92.9%	100.3%	99.0%	94.7%	-
財源	千円	受益者負担分 ①	0	0	0	0	0	-
		国・都からの 補助金 ②	0	0	0	0	0	-
		その他の 補助金等 ③	0	0	0	0	0	-
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	0	0	0	0	0	-
		実績額	0	0	0	0	-	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	41,379	44,790	42,640	49,099	48,735	76,921
		実績額	42,452	41,626	42,764	48,604	46,130	-
		執行率	102.6%	92.9%	100.3%	99.0%	94.7%	-



特記事項

急病医療情報センターの委託費が、令和5年度より減額となるとともに、執行残が生じました。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	急病医療情報センター運営	1	か所	18,894
	A E Dの貯蔵			9,586
	救命講習テキスト等購入			894
	その他 (謝礼金支払、消耗品購入等)			1,090

取組成果	杉並区急病医療情報センターにおいて夜間及び土日祝日における急病相談を8,985件受けるとともに、杉並区医療安全相談窓口では692件の相談を受け、うちアドバイスやコメントで対応を終えた件数は107件。意見・要望を医療機関に伝えた件数は27件など、急病など緊急時の区民の不安解消や安心して医療を受けられる環境を整えました。地域における初期救急対応力の向上を図る救急協力員は587人増えて延べ6,305人となったほか、救命講習会は113回1,993人が受講するなど、区民等の応急手当の知識と技術の習得を図るとともに、不特定多数の区民が集まる公共施設等にA E Dを延べ388台設置し、初期救急の体制整備を図りました。
------	---

課題の分析、方向性・改善策 (C h e c k · A c t i o n)

課題の分析	杉並区急病医療情報センターは、休日、夜間に専門の保健師・看護師が医療機関の案内や、急病対応の説明、小児急病相談を行っており、利用件数は令和5年度より減少したものの、区民の安心感に大きく寄与しています。引き続き運営を継続しつつ、利用件数の推移や東京都及び東京消防庁が実施している類似サービスとの役割分担等を随時確認しながら、効率的な運営を検討していく必要があります。地域における初期救急対応力については、引き続きA E Dの適切な維持管理等を継続し、初期救急の体制整備を図っていく必要があります。令和7年度より区内にある東京都指定二次救急医療機関（小児科）に対し、日中・夜間の救急診療、及び地域の医療機関からの紹介受診に専門的に対応するために必要な医師の確保を目的とした補助を行うことにより、小児救急医療体制を維持・確保していく必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	杉並区急病医療情報センターへの急病相談件数や杉並区医療安全相談窓口への相談件数は令和6年度より減少傾向であるものの、区民の急病時の不安を解消し、安心して医療を受けられる環境を維持しています。A E Dの操作方法・応急手当技法を学ぶ救命講習については、回数及び受講者数とともに令和6年度と同規模の実施を予定しております。A E Dの維持管理と併せて、地域における初期救急対応力の向上を図っています。区内にある東京都指定二次救急医療機関（小児科）に対し、日中・夜間の救急診療、及び地域の医療機関からの紹介受診に専門的に対応するために必要な医師の確保を目的とした補助を実施し、小児救急医療体制の維持・確保に努めています。
事業の方向性・改善策	杉並区急病医療情報センターについては引き続き運営を継続しつつ、相談の件数の推移を長期的に捉え、東京都及び東京消防庁が行う他の類似サービスとの役割分担を随時確認し、杉並区急病医療情報センターのサービス内容を見直していきます。また、杉並区医療安全相談窓口については、引き続き医療機関に関する相談・苦情に応じることにより、区民が安心して医療を受けられる環境を整えていきます。救命講習については、令和6年度と同程度の回数や人数で開催し、区民等の応急手当の知識と技術の普及・啓発を図るとともに、より適切なA E D設置場所の検討や維持管理を継続することにより、初期救急の体制整備を図っていきます。区内にある東京都指定二次救急医療機関（小児科）に対する補助については、引き続き継続し、小児救急医療体制の状況を把握していきます。

令和8年度の方針（A c t i o n）

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	杉並区急病医療情報センターや杉並区医療安全相談窓口の運営により、区民の急病時の不安解消や安心して医療を受けられる環境整備が求められています。また、応急手当技法を学ぶ救命講座の継続的な実施とA E D設置は、救急車を要請してから実際に到着するまでの間、どれだけ応急手当を行えるかが傷病者の生命を大きく左右するため、初期救急対応力の向上に欠かせません。今後の予算についても同規模を維持していきます。区内にある東京都指定二次救急医療機関（小児科）に対する補助についても、引き続き継続していきます。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
II. 事業の改善の方向性の理由	杉並区急病医療情報センターの運営については、利用件数の推移や他の類似サービスとの役割分担等を随時見直していきます。また、A E Dについては夜間に使用できるA E Dが少ないとから、設置場所などについても検討していきます。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	急病診療事業の運営					款 04	項 05	目 01	事業 010	整理番号	296
現担当課名	健康推進課			係名	医療連携担当			連絡先	内線4528	昨年度	307
上位施策No・施策名	13	地域医療体制の充実					予算事業区分	既定事業			
事業開始	昭和53年度	実行計画事業	分野	04	施策	13	計画事業	01			
令和6年度担当課名	健康推進課					事業評価区分	一般				

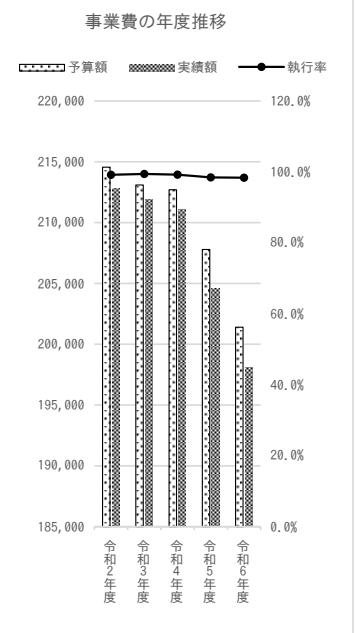
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等
○区民	杉並区休日等夜間急病診療事業実施要綱 杉並区歯科保健医療センター事業実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)
○区民の急病時の不安解消を目指し、一般の医療機関での受診が困難となる夜間・休日等の時間帯においても安心して医療を受けられる体制を整える。	○杉並区休日等夜間急病診療所及び休日当番医を設置し、委託により実施する。 ○杉並区歯科休日急病診療事業を委託により実施する。 ○杉並区休日等夜間調剤薬局及び休日当番薬局を設置し、委託により実施する。 ○小児急病診療協力医療機関（東京衛生アドベンチスト病院）への委託により、小児急病診療事業を実施する。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

指標名		指標説明		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
活動指標	急病診療所（医科・歯科）及び薬局の利用者数	休日等急病診療事業（医科：固定・輪番、歯科：固定・薬局：固定・輪番）の利用者数		人	計画	23,000	23,000	23,000	23,000
	小児急病診療協力医療機関（東京衛生アドベンチスト病院）受診者数				実績	9,516	22,223	22,168	-
成果指標	救急医療体制に安心感を持つ区民の割合	区民意向調査による		%	達成率	41.4%	96.6%	96.4%	-
					計画	2,200	2,200	1,000	1,000
分類	区民満足度指標			%	実績	1,689	1,423	617	-
	分類				達成率	76.8%	64.7%	61.7%	-

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	214,556	213,092	212,699	207,790	201,400	211,461
		実績額	212,823	211,876	211,060	204,580	198,112	-
		執行率	99.2%	99.4%	99.2%	98.5%	98.4%	-
人件費	千円	予算額	5,231	10,204	5,423	5,823	5,860	5,561
		実績額	3,656	6,674	7,153	6,781	5,818	-
		執行率	69.9%	65.4%	131.9%	116.5%	99.3%	-
上記以外の職員	千円	予算額	2,156	1,814	1,103	736	761	929
		実績額	2,540	1,838	736	761	929	-
		執行率	117.8%	101.3%	66.7%	103.4%	122.1%	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	221,943	225,110	219,225	214,349	208,021	217,951
		実績額	219,019	220,388	218,949	212,122	204,859	-
		執行率	98.7%	97.9%	99.9%	99.0%	98.5%	-
財源	千円	受益者負担分 ①	0	0	0	0	0	-
		国・都からの補助金 ②	4,887	5,108	5,109	5,109	5,111	6,221
		その他の補助金等 ③	4,824	4,965	5,017	5,109	5,111	-
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	4,887	5,108	5,109	5,109	5,111	6,221
		実績額	4,824	4,965	5,017	5,109	5,111	-
		執行率	98.7%	97.2%	98.2%	100.0%	100.0%	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	217,056	220,002	214,116	209,240	202,910	211,730
		実績額	214,195	215,423	213,932	207,013	199,748	-
		執行率	98.7%	97.9%	99.9%	98.9%	98.4%	-



特記事項

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	休日等夜間急病診療事業委託	1	件	136,808
	歯科休日急病診療事業委託	1	件	23,581
	小児急病診療体制の確保に関する委託	1	件	12,693
	休日等夜間調剤事業委託	1	件	23,107
	その他（パンフレット購入、保険料ほか）			1,923

取組成果	区民の急病診療体制を支えるため、杉並区休日等夜間急病診療所受診者数6,585人、当番医（4所）受診者数8,375人、杉並区歯科休日急病診療受診者数437人、杉並区休日等夜間調剤薬局処方件数6,060件、輪番薬局処方件数711件で、合計22,168件の診療等を行い、受診が困難となる夜間等においても安心して医療を受けられる体制を確保しました。また、小児の急病診療を確保するため東京衛生アドベンチスト病院において617人が受診するなど急病時の不安の解消を図るとともに医療体制を確保しました。
------	---

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	急病診療等の医療体制確保については、休診する医療機関が多い平日夜間や休日等に急病診療を行うことにより、区民の救急医療に対する安心感に寄与しています。受診者数は令和5年度と同程度に推移しており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前を上回っています。 小児急病診療については、杉並区休日等夜間急病診療所や小児急病診療協力医療機関等において急病診療を実施することにより、子どもを抱える世帯の医療面での不安解消につながっているため、今後も同規模の事業を展開することが求められますが、全国的な小児科医師不足や子どもの人口減少など、小児科を取り巻く環境の変化を注視していく必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	杉並区休日等夜間急病診療所と杉並区休日等夜間調剤薬局、小児急病診療協力医療機関（東京衛生アドベンチスト病院）の利用件数については、令和6年度より減少していますが、令和5年度と比較すると増加しており、区民の救急医療に対する安心感に寄与しています。
事業の方向性・改善策	休診する医療機関が多い平日夜間や休日等に急病診療を行うことで、区民の救急医療に対する安心感に寄与しており、特に小児急病診療については、杉並区休日等夜間急病診療所や小児急病診療協力医療機関等において、子育て世帯を医療面から支援し、急病時の不安解消に寄与しております。引き続き事業を継続していきます。

令和8年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	急病診療等の体制確保については、区民の救急医療体制に対する安心感を支えていくものであることから、今後も事業を継続していきます。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	小児急病診療体制については、全国的な小児科医師不足や子どもの人口減少など、小児科を取り巻く環境の変化を注視していく必要があります、関係機関の状況把握に努めていく必要があります。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	災害時医療体制の充実					款 04	項 05	目 01	事業 011	整理番号	297
現担当課名	健康推進課					係名	医療連携担当		連絡先	内線4528	昨年度 整理番号
上位施策No・施策名	13	地域医療体制の充実					電話番号			308	
事業開始	昭和54年度	実行計画事業	分野	04	施策	13	計画事業	02	05		主要事業（区政経営報告書掲載事業）
令和6年度 担当課名	健康推進課					事業評価区分			一般		

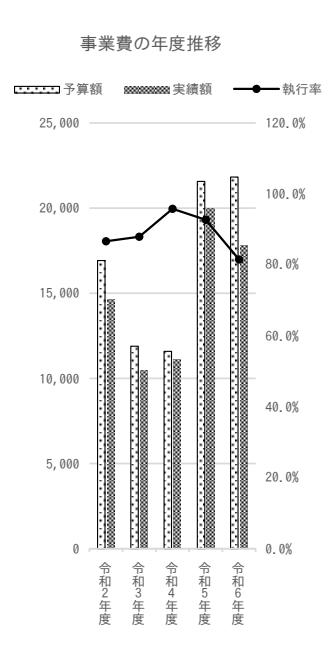
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 災害対策基本法 杉並区地域防災計画
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段） ○災害時に発生する負傷者等に対して、適切な応急処置等を行える体制を確立する。 ○災害拠点病院、災害拠点連携病院等の敷地内に緊急医療救護所を整備し、維持運営を行う。（11病院） ○災害拠点病院、災害拠点連携病院等と連携した、実践的な医療救護訓練を行う。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	災害拠点病院等と連携した医療救護訓練の実施		所	3	3	3	3	3	3	3	3
			計画	3	3	3	3	2	2	2	2
			実績	3	3	3	3	2	2	2	2
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%
	災害拠点病院等と連携した医療救護訓練の回数	災害時医療救護体制の変更以降の医療救護訓練回数の累計	回	19	22	25	27	27	27	27	27
			計画	19	22	25	27	27	27	27	27
			実績	19	22	22	24	24	24	24	24
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%
成果指標	行政サービス成果指標			計画	—	—	—	—	—	—	—
			実績	—	—	—	—	—	—	—	—
			達成率	—	—	—	—	—	—	—	—
	分類			計画	—	—	—	—	—	—	—
	分類			実績	—	—	—	—	—	—	—
			達成率	—	—	—	—	—	—	—	—

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	事業費の年度推移		
								予算額	実績額	執行率
事業費	千円	16,921	11,890	11,589	21,568	21,825	18,675			
		14,663	10,455	11,103	19,994	17,793	—			
		86.7%	87.9%	95.8%	92.7%	81.5%	—			
人件費	常勤職員分 (再任用含)	千円	1,744	4,252	8,343	8,318	17,579	16,256		
			2,126	7,425	10,564	9,961	17,625	—		
			121.9%	174.6%	126.6%	119.8%	100.3%	—		
	上記以外の職員	千円	1,232	1,088	1,103	736	761	929		
			1,451	1,103	736	761	929	—		
			117.8%	101.4%	66.7%	103.4%	122.1%	—		
総事業費	千円	19,897	17,230	21,035	30,622	40,165	35,860			
(事業費+人件費)			18,240	18,983	22,403	30,716	36,347	—		
			91.7%	110.2%	106.5%	100.3%	90.5%	—		
財源	受益者負担分 ①	千円	0	0	0	0	0	—		
	国・都からの 補助金 ②	千円	1,063	1,002	777	777	777	777		
			61	150	726	774	777	—		
			5.7%	15.0%	93.4%	99.6%	100.0%	—		
	その他の 補助金等 ③	千円	0	0	0	0	0	—		
	特定財源 (①+②+③)	千円	1,063	1,002	777	777	777	777		
			61	150	726	774	777	—		
			5.7%	15.0%	93.4%	99.6%	100.0%	—		
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	18,834	16,228	20,258	29,845	39,388	35,083			
			18,179	18,833	21,677	29,942	35,570	—		
			96.5%	116.1%	107.0%	100.3%	90.3%	—		



特記事項

Wi-Fi環境構築等業務委託について、設計額が予算額より廉価であったため令和5年度より事務費が減額になるとともに執行残が生じました。

令和8年度事務事業評価においては、外部評価をうけて、活動指標を「災害拠点病院等と連携した医療救護訓練の実施」から「災害拠点病院等と連携した医療救護訓練への参加率」に、成果指標を「災害拠点病院等と連携した医療救護訓練の回数」から「災害拠点病院等と連携した医療救護訓練への参加者の理解度」へ変更予定です。

主な取組	内 容	規 模	単位	事業費 (千円)
	緊急医療救護所運営助成	11	所	5,500
	医療救護所備蓄品管理			3,131
	災害医療活動拠点の整備			853
	W i – F i 環境構築等業務委託			4,928
	その他 (災害時歯科医療機器の貸借等)			3,381

取組成果	杉並区災害医療運営連絡協議会の下部組織として杉並区災害時周産期医療救護体制検討部会を設置し、杉並産婦人科医会や医師会とともに、分娩等緊急性の高い妊産婦の災害時における医療機関間での受入を調整する仕組みを構築することができました。令和6年4月から制度を開始した杉並区災害時透析医療救護体制について、透析患者へパンフレット等の配布や関係機関への講演会を実施し制度の周知を図りました。また、区内透析医療機関同士の通信訓練を3回実施し、医療機関の連携を強化しました。 発災後72時間までの保健所活動について、専門家の意見を参考にしながら内部で検討を行い、新たな杉並区災害時保健所活動マニュアルを作成しました。 また、災害時にもつながりやすい地域BWAを活用したW i – F i アクセスポイントを緊急医療救護所、各保健センター、透析医療機関等に導入するなど、災害時の関係機関の備えや連携を強化しました。
------	--

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	杉並区災害時透析医療救護体制については、透析患者への周知や透析医療機関の災害時訓練などを通じ、引き続きより実行性のある体制整備に努めていく必要があります。 杉並区災害時周産期医療救護体制については、産科を標榜する病院へスタッフの応援が必要であることから、杉並産婦人科医会に所属する無床医療機関へアンケート調査を実施し、スタッフの連絡体制を構築する必要があります。 令和6年度に保健所内で検討した杉並区災害時保健所活動マニュアルに基づいて、令和7年度は研修・訓練を実施し、発災後72時間以降の体制について検討するなど、災害時に実効性のある体制を構築する必要があります。 令和7年度は災害時における保健医療活動体制を強化するため、タブレットを活用した新たな体制を整備していく必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	令和6年度に開始した人工透析患者に対する杉並区災害時透析医療救護体制については、関係機関や区民への周知を図りつつ、区内透析医療機関との訓練を実施しました。 杉並区災害時周産期医療救護体制については、産科を標榜する病院に対するスタッフの応援について、杉並産婦人科医会に所属する無床医療機関へアンケート調査を実施し、産科を標榜する病院と共有を図りました。 緊急医療救護所の医療救護訓練については、より実践的な訓練とするため、令和6年度に保健所内で検討した杉並区災害時保健所活動マニュアルに基づいて改善していきます。 また、災害時における保健医療活動体制を強化するため、避難者の健康管理や感染症の発生状況の情報共有などを行うことができるよう、タブレットを配備していきます。
事業の方向性・改善策	災害時に備えるため、災害拠点病院・災害拠点連携病院等11病院への運営協力金の交付による、緊急医療救護所の備蓄品整備を継続していきます。また、緊急医療救護所の医療救護訓練については、災害拠点病院や災害拠点連携病院等と連携した訓練を令和6年度と同規模で継続するとともに、実効性のある訓練内容とするため常に改善点の検証を行い、杉並区災害医療運営連絡協議会を中心として関係機関との連携体制を更に強化していきます。 また、令和7年度より災害関連死を防ぐために、発災直後の超急性期・急性期における段階から、避難所・在宅・福祉施設等で避難する要配慮者に対して、都、区市町村及び関係機関が連携して医療を提供できる体制を協議していくこととなつたため、区内の体制についても検討する機会を設ける必要があります。 このため、緊急医療救護所の整備や医療救護訓練に係る予算については、令和7年度と同規模としつつ、医療救護訓練については見直しを図ります。

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	拡充
I. 事業コストの方向性の理由	災害関連死を防ぐために、発災直後の超急性期・急性期における段階から、避難所・在宅・福祉施設等で避難する要配慮者に対して、都、区市町村及び関係機関が連携して医療を提供できる体制を協議していくこととなつたため、区内の体制についても検討する機会を設ける必要があります。 このため、緊急医療救護所の整備や医療救護訓練に係る予算については、令和7年度と同規模としつつ、医療救護訓練については見直しを図ります。
II. 事業の改善の方向性	対象の見直し
II. 事業の改善の方向性の理由	令和7年度より災害関連死を防ぐために、発災直後の超急性期・急性期における段階から、避難所・在宅・福祉施設等で避難する要配慮者に対して、都、区市町村及び関係機関が連携して医療を提供できる体制を協議していくこととなつたため、今後の都の動向を注視しながら、緊急医療救護所設置病院以外の医療機関等との連携も図る必要があります。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	歯科保健医療センター事業					款 04	項 05	目 01	事業 012	整理番号	298
現担当課名	健康推進課					係名 管理係	連絡先 4528	電話番号	昨年度 309	整理番号	
上位施策No・施策名	13 地域医療体制の充実					予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成13年度		分野 04	施策 13	計画事業						
令和6年度 担当課名	健康推進課					事業評価区分	一般				

令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等
○障害者や有病高齢者等で、一般の歯科診療所での診療が困難な区民 ○身近な地域にかかりつけ歯科医を持つことを希望する区民	杉並区立保健医療センター条例 杉並区歯科保健医療センター事業実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)
○一般的の歯科診療所では受診が困難な障害者や有病高齢者等が安心して歯科診療を受けることができる場を提供する。 ○身近にかかりつけ歯科医を持ち、気軽に相談できる環境をつくる。 。	○杉並保健所内に、かかりつけ歯科医に関する相談、歯科医療機関の紹介、専門的歯科治療等を行う歯科保健医療センターを設置し、運営を委託により実施する。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度				
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
利用者数 (延べ)	延べ診療件数 (年間)	歯科保健医療センター診療件数実績	件	計画	5,000	5,000	5,000	5,000
				実績	6,195	6,128	6,256	-
				達成率	123.9%	122.6%	125.1%	-
かかりつけ歯科医を持つ区民の割合	かかりつけ歯科医を持つ区民の割合	区民意向調査による	%	計画	4,000	4,000	4,000	4,000
				実績	5,218	5,121	5,236	-
				達成率	130.5%	128.0%	130.9%	-
分類 社会成果 (課題) 指標	延べ診療件数の前年比	診療件数の前年対比	%	計画	65	65	65	75
				実績	79.8	74.7	74.7	-
				達成率	122.8%	114.9%	114.9%	-
分類 行政サービス成果指標			%	計画	100	100	100	100
				実績	105.6	98.9	102	-
				達成率	105.6%	98.9%	102.0%	-

事業費	単位 千円	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		予算額	66,232	66,676	65,555	65,268	67,543
人件費	常勤職員分 (再任用含)	実績額	66,111	66,150	65,523	65,237	-
		執行率	99.8%	99.2%	100.0%	100.0%	-
		予算額	872	850	834	1,664	3,422
上記以外の職員	千円	実績額	1,105	1,085	998	1,925	2,995
		執行率	126.7%	127.6%	119.7%	115.7%	119.3%
		予算額	0	0	368	368	0
総事業費 (事業費+人件費)	千円	実績額	0	0	368	381	-
		執行率	-	-	100.0%	103.5%	97.4%
		予算額	67,104	67,526	66,757	67,300	70,965
財源	受益者負担分 ①	実績額	67,216	67,235	66,889	67,543	-
		執行率	100.2%	99.6%	100.2%	100.4%	100.6%
		予算額	0	0	0	0	0
国・都からの補助金 ②	千円	実績額	0	0	0	0	0
		執行率	-	-	-	-	-
		予算額	0	0	0	0	0
その他の補助金等 ③	千円	実績額	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-
		予算額	0	0	0	0	0
特定財源 (①+②+③)	千円	実績額	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-
		予算額	0	0	0	0	0
差引：一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	実績額	67,104	67,526	66,757	67,300	70,965
		執行率	100.2%	99.6%	100.2%	100.4%	100.6%
		予算額	67,216	67,235	66,889	67,543	68,603

事業費の年度推移

グラフの説明：このグラフは、事業費の予算額、実績額、および執行率を年別に示す棒グラフと、執行率を示す折れ線グラフの組合せです。Y軸は事業費額（千円）で、64,400から66,900の範囲です。X軸は年度で、令和2年度から令和6年度まであります。予算額は毎年約66,000千円で推移しています。実績額は、令和2年度が約65,900千円、令和3年度が約65,400千円、令和4年度が約64,900千円、令和5年度が約64,400千円、令和6年度が約64,000千円と減少傾向です。執行率は、約120.0%、100.0%、80.0%、60.0%、40.0%と低下しています。

年度	予算額 (千円)	実績額 (千円)	執行率 (%)
令和2年度	66,900	65,900	120.0%
令和3年度	66,400	65,400	100.0%
令和4年度	66,000	64,900	80.0%
令和5年度	66,500	64,400	60.0%
令和6年度	67,000	64,000	40.0%

特記事項

成果指標については、外部評価委員の意見を踏まえ、計画値の見直しを行いました。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	歯科保健医療センター運営業務委託	1	件	54,232
	歯科保健医療センター医療機器賃借	1	件	10,997
	その他 (保険料))	8

取組成果	一般的歯科診療所で受診が困難な区民を対象とした歯科診療等について、杉並区歯科医師会に委託して杉並区歯科保健医療センターを運営することで、区民が安心して歯科診療を受けれる環境を確保しました。また、区内障害者施設職員に向けた口腔ケア指導研修を実施することにより、障害者施設利用者が日常生活において可能な限り自立した口腔ケアができるよう支援することができました。 歯科保健医療センターの事業を円滑かつ適切に実施するため、委託先と事業運営連絡会を2回開催し、連携を図りました。
------	---

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	令和8年度途中に「歯科保健医療センター医療機器賃借」が契約満了を迎えることから、区民がより安心して歯科診療を受けられる環境を整えるため、杉並区歯科医師会と協議の上、リース機器の更新を検討する必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	歯科保健医療センターの運営委託先である杉並区歯科医師会と事業運営連絡会を開催するなど連携を図りながら、令和8年度のリース契約の更新に向けて、調整を行っていきます。また、事業を円滑かつ適切に実施するとともに、区内障害者施設職員を対象とする口腔ケア指導研修について、研修目的に沿った効果的な研修内容を実施していきます。 予算執行率は、100%になる見込みです。
事業の方向性・改善策	一般的歯科診療所での治療が困難な障害者の高齢化に加え、高齢者人口の増加に比例して有病高齢者の受診が増加傾向にあることから、引き続き安心して歯科診療を受けられる体制を確保する必要があります。また、身近な地域にかかりつけ歯科医を持つことを希望する区民に、地域の歯科医療機関と連携して、かかりつけ歯科医の相談及び紹介を行い、住み慣れた地域で安心して健康に暮らし続けられる環境を整備する必要があります。 引き続き、歯科保健医療センターの運営委託先である杉並区歯科医師会と連携、協力しながら、リース機器更新後においても区民が安心して利用できるよう努めています。

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	拡充
I. 事業コストの方向性の理由	「歯科保健医療センター医療機器賃借」の契約更新において、物価高騰等による価格上昇への対応が必要になります。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	一般的歯科診療所での治療が困難な障害者や有病高齢者が、安心して歯科診療を受けられる体制を引き続き確保していきます。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	各種衛生検査					款 04	項 05	目 01	事業 024	整理番号	308
現担当課名	生活衛生課					係名	衛生検査係	連絡先	4514	昨年度	319
上位施策No・施策名	13 地域医療体制の充実					電話番号		整理番号			
事業開始	昭和56年度	実行計画事業	分野	04	施策	13	計画事業	04		主要事業	(区政経営報告書掲載事業)
令和6年度担当課名	生活衛生課					事業評価区分		一般			

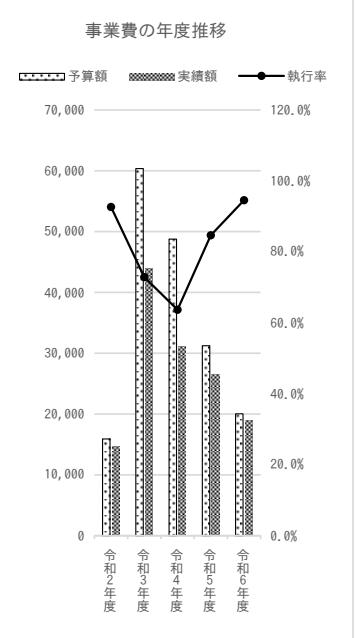
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 地域保健法 食品衛生法
区内在住者、区を含む事業所	
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	<p>事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>○保健所、防災課、学校整備課等から依頼を受け、衛生微生物検査（レジオネラ属菌、腸管出血性大腸菌0157等、サルモネラ、黄色ブドウ球菌等）、腸管系微生物検査（ノロウイルス、腸管出血性大腸菌0157等、赤痢菌、サルモネラ等）、結核菌感染診断検査、性感染症検査等を実施する。</p> <p>○学務課、保育課から依頼を受け、給食等を対象とした放射性物質の測定を実施する。</p> <p>○流行している感染症など区内の健康課題を踏まえた上で、適宜必要な検査法を確立する。</p>

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	検査実績検体数（件）	検査を実施した検体の数	件	計画 12,000	10,000	10,000	10,000
			実績	10,303	9,616	10,830	-
			達成率	85.9%	96.2%	108.3%	-
	検体受領回数（回）	検体を受領した回数	回	計画 1,000	900	900	900
			実績	979	923	937	-
			達成率	97.9%	102.6%	104.1%	-
	細菌検査項目数	検査依頼に対応した細菌検査項目数の合計	項目	計画 48	48	44	48
成果指標	分類 行政サービス成果指標		実績	51	51	52	-
	分類		達成率	106.3%	106.3%	118.2%	-
	分類		計画	-	-	-	-
			実績	-	-	-	-
			達成率	-	-	-	-

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	事業費 千円	予算額 15,903	60,360	48,766	31,233	20,043	25,077
		実績額 14,736	43,994	31,061	26,448	18,953	-
		執行率 92.7%	72.9%	63.7%	84.7%	94.6%	-
人件費	常勤職員分(再任用含)	予算額 17,798	58,566	43,170	37,847	38,088	47,058
		実績額 18,762	59,104	43,161	38,423	40,641	-
	上記以外の職員	予算額 105.4%	100.9%	100.0%	101.5%	106.7%	-
		実績額 0	0	0	0	0	0
総事業費(事業費+人件費)	予算額 33,701	118,926	91,936	69,080	58,131	72,135	-
	実績額 33,498	103,098	74,222	64,871	59,594	-	-
	執行率 99.4%	86.7%	80.7%	93.9%	102.5%	-	-
財源	受益者負担分①	予算額 0	0	0	0	0	-
		実績額 0	0	0	0	-	-
	国・都からの補助金②	予算額 606	18,238	39,547	16,440	1,069	3,404
		実績額 605	35,762	39,464	16,414	959	-
	その他の補助金等③	予算額 0	0	0	0	0	-
		実績額 0	0	0	0	-	-
	特定財源(①+②+③)	予算額 606	18,238	39,547	16,440	1,069	3,404
		実績額 605	35,762	39,464	16,414	959	-
差引：一般財源(総事業費-特定財源)	予算額 33,095	100,688	52,389	52,640	57,062	68,731	-
	実績額 32,893	67,336	34,758	48,457	58,635	-	-
	執行率 99.4%	66.9%	66.3%	92.1%	102.8%	-	-



特記事項

令和6年度事業費減の理由：新型コロナウイルスPCR検査の縮小に伴い、検査試薬等に係る経費が減少しました。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	検査用機器の賃借、備品購入			2,593
	各種試験・検査の材料購入、検査委託、機器の修理及び保守点検			14,100
	精度管理			352
	新型感染症検査用備蓄			1,908
	その他 ()			0

取組成果	内各課からの依頼に対し、腸管出血性大腸菌の散発事例に対応するなど、迅速かつ正確な検査を行いました。併せて、食品苦情に関する検査や給食食材の放射能測定などを行い科学的根拠を示すことにより、区民の健康不安の解消に努めました。また、令和6年度より、HIV及び梅毒の検査を開始するなど、感染症対策の充実を図りました。 新興・再興感染症の発生に備え、「杉並区感染症予防計画」に基づき、病原体等検査に要する試薬・消耗品等の備蓄及び計画的な検査機器の更新を進めるとともに、新型コロナウイルス感染症対応時と同規模である1日最大90件の検査依頼を想定した実践型訓練を実施することにより、検査体制の確保・充実を図りました。

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	区における感染症等の試験検査等の技術的・専門的な実施機関として、引き続き法的検査及び新興・再興感染症等の健康危機発生時に即応することができる検査体制の確保・充実を図るため、平時から検査機器の整備や検査試薬等の備蓄に加え、検査手技訓練を行い、検査能力の維持向上に取り組む必要があります。 また、検査の信頼性を確保するため、引き続き検査精度の確認及び評価を計画的に行い、厚生労働省が認めた第三者機関による精度管理調査に参加するとともに、保有している検査機器の保守点検及び更新についても計画的に行う必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	内各課からの依頼に対し、迅速かつ正確な検査を継続して実施しています。感染症や食中毒の発生時等、特に緊急を要する場合には、土日も含め、早急に対応しています。令和7年度からは、性感染症検査として、HIV及び梅毒に加え、B型肝炎についても検査を実施するとともに、結核患者の陰性確認のため、核酸増幅検査を新たに開始するなど、感染症対策の充実に取り組んでいます。 また、厚生労働省が認めた第三者機関による精度管理調査等に参加するとともに、保有している検査機器の保守点検及び耐用年数の超過した検査機器の更新を行い、検査の信頼性の確保に努めています。 併せて、健康危機発生時に備え、「杉並区感染症予防計画」に基づき、平時から検査機器の整備や検査試薬等の備蓄を行うとともに、検査手技訓練としての実践型訓練を実施するなど、検査体制の確保・充実に努めています。年度末までの予算執行率は90%を超える見込みです。
事業の方向性・改善策	「杉並区感染症予防計画」及び現在改定中の「杉並区新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づき、平時からの計画的な検査体制の維持・強化を図ります。そのため、保有している検査機器の保守点検及び更新を継続的に行い、厚生労働省が認めた第三者機関による精度管理調査に参加するとともに、人材育成を計画的に実施していきます。併せて、健康危機発生時に即応するための検査試薬等の備蓄及び実践型訓練を実施していきます。

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	内各課からの依頼に対し検査を実施するとともに、新たな検査需要にも対応していくため、試薬及び器材の購入費用が継続して見込まれます。また、検査体制を維持・強化するため、老朽化した検査機器の維持管理費用、健康危機発生時に即応するための検査試薬等の備蓄費用及び人材育成のための研修費用の需用も見込まれます。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	内各課からの依頼に対し、迅速かつ正確な検査を継続して実施していきます。 また、新興・再興感染症の発生に備え、「杉並区感染症予防計画」及び現在改定中の「杉並区新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づき、平時から計画的に検査体制の確保・充実を図ります。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	在宅医療体制の充実					款 04	項 05	目 01	事業 025	整理番号	309
現担当課名	在宅医療・生活支援センター					係名 在宅医療・介護連携推進係	連絡先 4383	電話番号	昨年度 320	整理番号	
上位施策No・施策名	13	地域医療体制の充実					予算事業区分		既定事業		
事業開始	平成21年度	実行計画事業	分野 04	施策 13	計画事業 03						
令和6年度 担当課名	在宅医療・生活支援センター					事業評価区分	一般				

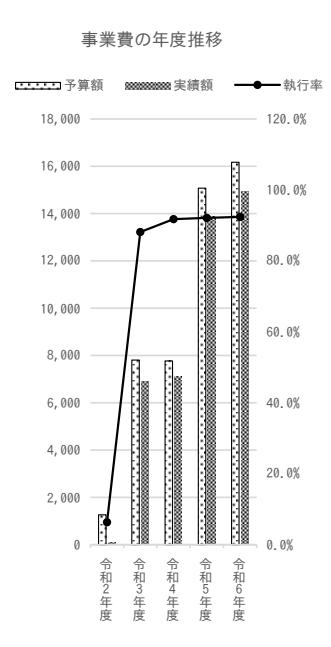
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 杉並区在宅医療・介護連携推進事業実施要綱
在宅療養者及び医療・介護の関係者	
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	<p>○医療・介護の関係者が在宅療養者の情報を効率的に共有できるようするため、杉並区医師会の多職種連携ICTシステムに係る運用経費を補助する。</p> <p>○がん治療に伴う外見の変化で悩みを抱えている患者の心理的及び経済的な負担軽減を目的として、ウィッグ・胸部補整具の購入費等を助成する。</p> <p>○在宅療養者の入院体制を確保するため、在宅療養者の一時的な受け入れを行った後方支援病床の協力病院に対して補助を行う。</p>

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度
				計画	実績			
成果指標	ウイッグ購入費等助成事業のチラシ・PRカード配布部数		所	計画	0	4,000	300	340
				実績	0	4,000	380	-
				達成率	-	100.0%	126.7%	-
	多職種連携ICTシステムの利用者数			計画	-	-	-	-
	分類 行政サービス成果指標			実績	-	-	-	-
	ウイッグ購入費等の助成件数			達成率	-	-	-	-
分類 行政サービス成果指標	計画	300	400	400	430			
	実績	308	382	415	-			
	達成率	102.7%	95.5%	103.8%	-			
	件	計画	0	200	250	300		
分類 行政サービス成果指標	実績	0	233	283	-			
	達成率	-	116.5%	113.2%	-			

	単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額
事業費	千円	1,264	7,807	7,769	15,074	16,170	16,978						
		80	6,880	7,129	13,886	14,941	-						
		6.3%	88.1%	91.8%	92.1%	92.4%	-						
人件費	千円	3,923	3,826	7,926	8,318	8,371	8,556						
		3,826	5,006	9,150	10,045	8,556	-						
		97.5%	130.8%	115.4%	120.8%	102.2%	-						
上記以外の職員	千円	5,852	6,893	7,350	7,356	6,853	8,357						
		6,893	6,983	6,694	6,853	8,357	-						
		117.8%	101.3%	91.1%	93.2%	121.9%	-						
総事業費 (事業費+人件費)	千円	11,039	18,526	23,045	30,748	31,394	33,891						
		10,799	18,869	22,973	30,784	31,854	-						
		97.8%	101.9%	99.7%	100.1%	101.5%	-						
財源	千円	0	0	0	0	0	0						
		0	0	0	0	0	0						
		-	-	-	-	-	-						
①	千円	4,492	13,071	13,044	12,954	11,374	0						
		5,048	10,623	10,916	14,203	12,407	-						
		112.4%	81.3%	83.7%	109.6%	109.1%	-						
②	千円	0	0	0	0	0	0						
		0	0	0	0	0	0						
		-	-	-	-	-	-						
③	千円	0	0	0	0	0	0						
		0	0	0	0	0	0						
		-	-	-	-	-	-						
特定財源 (①+②+③)	千円	4,492	13,071	13,044	12,954	11,374	0						
		5,048	10,623	10,916	14,203	12,407	-						
		112.4%	81.3%	83.7%	109.6%	109.1%	-						
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	6,547	5,455	10,001	17,794	20,020	33,891						
		5,751	8,246	12,057	16,581	19,447	-						
		87.8%	151.2%	120.6%	93.2%	97.1%	-						



特記事項
令和5年度は年度途中の7月から「ウイッグ購入費助成事業」を開始したため、令和6年度は事業費が増加しました。また、同事業の開始に伴い、令和6年度は活動指標（1）を変更しました。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	多職種連携 I C T システムの運用支援			6,993
	ウィッグ購入費等の助成	283	件	7,849
	後方支援病床の支援	0	日	
	その他 (消耗品の購入等)			99

取組成果	医療・介護の関係者が患者情報を効率的に共有できるように、杉並区医師会が運用する多職種連携 I C T システムに対して、経費の補助を行いました。また、更なるシステムの普及を図るために、杉並区医師会と協力して在宅医療地域ケア会議の関係者等に周知を行い、令和6年度末時点での利用者数は415人となりました。加えて、がん患者のウィッグ購入費等を助成する事業では、チラシに加えて P R カードを医療機関やウィッグ販売店に配布し、対象となる方への更なる周知を行い、計283件の助成を行いました。
------	---

課題の分析、方向性・改善策 (C h e c k · A c t i o n)

課題の分析	高齢者人口の増加に伴い、在宅医療のニーズが高まっており、在宅医療体制をより一層充実させることが必要です。令和7年度は、杉並区医師会や区内医療機関等と連携しながらシステムや制度の更なる周知を図り、多職種連携 I C T システムへの補助を継続します。また、ウィッグ購入費等助成事業については、令和6年度はPRカードによる周知が対象者に行き渡ったことにより、目標値250件を超えた助成件数となりました。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	チラシ等により区内医療機関や介護事業所に多職種連携 I C T システムについて周知し、登録数の増加を図りました。ウィッグ購入費等の助成件数は、8月末時点(7月申請分まで)で、62件となっています。今年度中に助成事業の拡大を予定していることから、申請予定者にもその旨を案内しているため、助成件数については更なる増加が見込まれます。
事業の方向性・改善策	多職種連携 I C T システムや後方支援病床について、9月以降に開催する在宅医療地域ケア会議や在宅医療推進多職種研修等で、引き続き在宅医療の関係者への周知を行い、利用の拡大を図っていきます。また、ウィッグ購入費等助成事業については、11月を目途に助成事業を拡大するため、対象者へその内容を適切な時期に周知していきます。

令和8年度の方針 (A c t i o n)

I. 事業コストの方向性	拡充
I. 事業コストの方向性の理由	多職種連携 I C T システムの利用者数が増えていく見込みであり、運用経費が増加します。また、ウィッグ購入費等助成事業について、今年度から助成上限額等の拡大を行う予定であることから、次年度の予算は今年度と比べて増額となります。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)
II. 事業の改善の方向性の理由	杉並区医師会と連携しながら、より効果的な周知方法を検討するなど、多職種連携 I C T システムのさらなる利用拡大に向けて取り組みます。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	予防接種					款 04	項 05	目 05	事業 001	整理番号	324
現担当課名	保健予防課					係名 保健予防係	連絡先 4525	電話番号	昨年度 335	整理番号	
上位施策No・施策名	13	地域医療体制の充実					予算事業区分		既定事業		
事業開始	昭和23年度		分野 04	施策 13	計画事業						
令和6年度 担当課名	保健予防課					事業評価区分	一般				

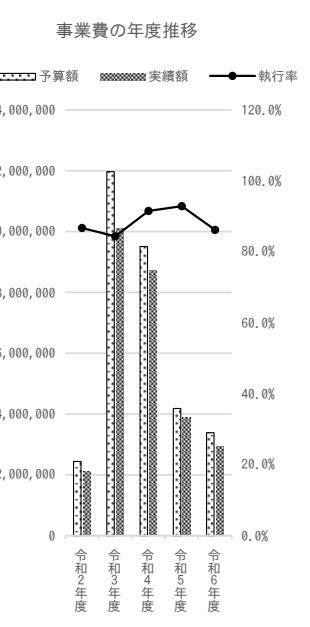
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等
法令及び要綱に定める接種年齢に該当する区民	予防接種法 特別区予防接種相互委託協定書
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)
○A類疾病（ロタ、B型肝炎、5種混合、麻しん、風しん、水痘、日本脳炎、結核、小児の肺炎球菌感染症、HPV）、B類疾病（インフルエンザ、高齢者肺炎球菌、新型コロナウイルス感染症、帯状疱疹）の発生及びまん延を予防する。○任意予防接種の費用を助成することで、接種しやすい環境を作り、疾病予防を推進する。	○法令で定められた予防接種を実施する。 ○保護者が予防接種について正しく理解し、接種するよう、普及啓発を行う。 ○一部の法定外予防接種に対し、接種費用の助成を行う。

指標・総事業費 (P l a n · D o)

指標名		指標説明		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
活動指標	A類予防接種の接種件数			件	計画	110,000	112,000	110,000	104,000
					実績	112,458	110,340	104,652	-
					達成率	102.2%	98.5%	95.1%	-
成果指標	B類予防接種の接種件数			件	計画	74,000	74,000	74,000	96,000
					実績	82,856	75,341	101,475	-
					達成率	112.0%	101.8%	137.1%	-
分類	1歳6か月児健診受診者の麻しん、麻しん風しん混合予防接種の接種率	接種件数÷対象者数		%	計画	100	100	100	100
					実績	96.4	98.3	94	-
					達成率	96.4%	98.3%	94.0%	-
分類	行政サービス成果指標			%	計画	100	100	100	100
	A類予防接種の接種率				実績	97.9	96.7	96	-
					達成率	97.9%	96.7%	96.0%	-

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
事業費	千円	予算額	2,442,115	11,969,798	9,510,337	4,183,548	3,386,335	2,594,094		
		実績額	2,118,241	10,100,269	8,705,408	3,886,135	2,918,934	-		
		執行率	86.7%	84.4%	91.5%	92.9%	86.2%	-		
人件費	千円	予算額	41,411	126,270	237,314	205,009	95,948	58,609		
		実績額	90,812	269,071	300,908	227,915	96,573	-		
		執行率	219.3%	213.1%	126.8%	111.2%	100.7%	-		
上記以外の職員	千円	予算額	6,160	18,140	29,400	25,746	15,228	9,286		
		実績額	7,256	29,400	33,102	26,649	14,718	-		
		執行率	117.8%	162.1%	112.6%	103.5%	96.7%	-		
総事業費 (事業費+人件費)		千円	予算額	2,489,686	12,114,208	9,777,051	4,414,303	3,497,511	2,661,989	
			実績額	2,216,309	10,398,740	9,039,418	4,140,699	3,030,225	-	
			執行率	89.0%	85.8%	92.5%	93.8%	86.6%	-	
財源	千円	受益者負担分	0	0	0	0	0	-		
		①	0	0	0	0	0	-		
		国・都からの補助金	90,058	10,243,319	7,319,139	2,157,854	152,017	160,707		
財源	千円	②	336,901	10,107,576	7,073,005	2,450,150	602,033	-		
		③	374.1%	98.7%	96.6%	113.5%	396.0%	-		
		その他の補助金等	92,557	111,482	104,802	123,490	770,223	202,534		
特定財源	千円	①+②+③	137,841	125,335	152,918	141,920	188,090	-		
		④	148.9%	112.4%	145.9%	114.9%	24.4%	-		
		予算額	182,615	10,354,801	7,423,941	2,281,344	922,240	363,241		
差引：一般財源	千円	実績額	474,742	10,232,911	7,225,923	2,592,070	790,123	-		
		執行率	260.0%	98.8%	97.3%	113.6%	85.7%	-		
		予算額	2,307,071	1,759,407	2,353,110	2,132,959	2,575,271	2,298,748		
差引：一般財源	千円	実績額	1,741,567	165,829	1,813,495	1,548,629	2,240,102	-		
		執行率	75.5%	9.4%	77.1%	72.6%	87.0%	-		



特記事項

- ①新型コロナウイルス予防接種が定期接種になったことにより事業費が減少しました。
- ②新型コロナウイルス予防接種の接種率が見込みより低かったため執行率が低くなりました。

	内 容	規 模	単 位	事 業 費 (千円)
主な取組	子どもの定期予防接種事業の実施	104,652	件	1,745,239
	B類予防接種事業の実施	101,475	件	735,503
	任意予防接種事業の実施	57,340	件	210,356
	その他 (健康被害救済、印刷等事務費の支出ほか)			227,836
取組成果	<p>積極的勧奨を中断していた期間にH P Vワクチンの接種対象であった方への予防接種（キャッチアップ接種）は最終年度であったため、7月に対象者へ接種勧奨のお知らせを送付したことにより、接種件数は、令和5年度に比べ約2.8倍になりました。</p> <p>新型コロナウイルスワクチンは令和6年10月から定期接種となり、接種対象者はインフルエンザワクチンの定期接種と同様の対象になったことから、対象者にはインフルエンザとあわせて予診票等を送付し、希望する区民が接種することができ、新型コロナウイルス感染症等の重症化を予防することにつながりました。</p> <p>令和6年10月から任意接種である小児インフルエンザワクチンの接種費用助成を開始し、経済的負担を軽減することができました。</p>			

課題の分析、方向性・改善策 (C h e c k · A c t i o n)

課題の分析	令和7年4月から帯状疱疹ワクチンは定期予防接種になりました。任意接種への費用助成も継続するため、わかりやすい案内が必要です。また小6～高1相当の男性に対するH P Vワクチンの接種費用助成を開始しました。デメリットを含めて、正しい情報提供を行い、区民が選択できる環境を整えることが重要です。今年度はH P Vワクチンのキャッチアップ接種およびMRワクチンについて、条件付きで接種期間が延長されたことから、接種対象者等に対して正確でわかりやすい情報提供及び周知が必要です。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	条件付きで接種期間が延長されたH P Vワクチンのキャッチアップ接種及びMRワクチンについて、対象者へ7～8月にお知らせを送付しました。また、4月から費用助成を開始した男性H P V費用助成について、高校1年生に相当する年齢の男性へ8月にお知らせを送付しました。保護者や医療機関から予診票等の発行や接種歴等に関する問合せが多く寄せられましたが、適切に対応することができます。
事業の方向性・改善策	令和7年4月から帯状疱疹ワクチンが定期接種の対象となりました。任意接種への費用助成も継続しており、制度が複雑であるため、問合せが多くあることから、正確でわかりやすく情報提供を行っていきます。また、任意の小児インフルエンザ予防接種は令和7年度から対象ワクチンに経鼻ワクチンを追加します。予防接種を受けることで感染症のまん延や感染時の重症化を防止するため、引き続き、予防接種が円滑に実施できるよう正確な事務処理を進めるとともに、予防接種に関する正確な情報提供及び適切な接種勧奨を行います。

令和8年度の方針 (A c t i o n)

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	帯状疱疹ワクチンの任意接種への費用助成は令和7年度で終了しますが、事業全体に占める割合は低いため、令和7年度と同程度の事業コストが見込まれます。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	希望する区民が安心して接種できる体制を整えるとともに、予防接種に関する正確な情報提供や適切な接種勧奨を引き続き行います。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	感染症予防・発生時対策					款 04	項 05	目 05	事業 002	整理番号	325
現担当課名	保健予防課					係名 感染症係	連絡先 4525	電話番号	昨年度 336	整理番号	
上位施策No・施策名	13	地域医療体制の充実					予算事業区分		既定事業		
事業開始	昭和50年度	実行計画事業	分野 04	施策 13	計画事業 04		主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和6年度 担当課名	保健予防課					事業評価区分	一般				

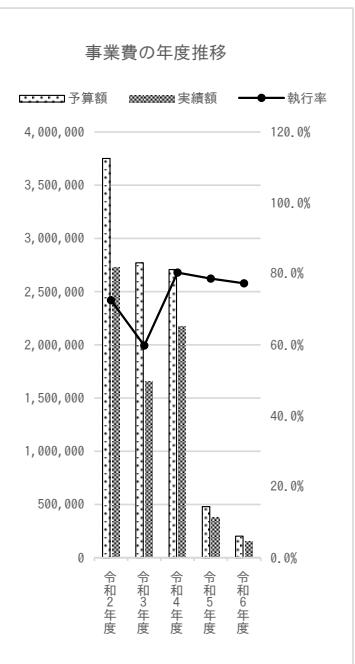
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等
区民、感染症患者及びその接触者等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行令
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○感染症発生時に迅速かつ的確に対応し、まん延の防止を図るなど区民の健康を守る。 ○区民が感染症に関する正しい知識を持ち、自ら感染症の予防ができるようになる。	○感染症の発生を早期に探し、疫学調査や拡大防止のための指導を行う。システムを構築・導入し、利便性向上及び業務効率化を図り、区民対応の質を向上させる。 ○結核患者の医療費公費負担や服薬支援等の療養支援を適切に行う。また、感染者の早期発見のため、感染症法で定められた定期健診の実施、接触者調査やQFT検査を適切に行う。 ○区民に対し、感染症予防に関する普及啓発を行う。 ○HIV等の早期発見のため、性感染症検査を実施する。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度				令和5年度		
				計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
	結核患者に対する保健指導件数（訪問、面接、電話等）		件	1,600	1,600	100.0%	1,986	1,986	100.0%	2,000
	HIV等性感染症相談件数（電話相談含む）		件	1,610	2,117	132.3%	496	1,071	1,084	-
	治療成功率	100%－治療失敗率（治療が失敗中断した患者数÷結核患者数）	%	100.6%	175.0%	-	95	95	95	95
成果指標	分類 社会成果（課題）指標			計画	95	95	95	95	95	95
	保健所HIV抗体検査数	即日検査委託分を含む	件	実績	97	94	92	-	-	-
	分類 行政サービス成果指標			達成率	25.0%	53.9%	68.4%	-	-	-
				計画	660	660	775	860	860	860
				実績	232	527	549	-	-	-
				達成率	35.2%	79.8%	70.8%	-	-	-

	単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額
事業費	千円	3,751,041	2,770,481	2,707,513	479,774	202,344	136,756						
人件費	常勤職員分（再任用含）	予算額	2,722,322	1,656,714	2,175,836	377,430	156,483	-					
	上記以外の職員	予算額	64,513	203,519	260,841	189,734	122,417	94,092					
		実績額	296,426	339,958	337,488	179,391	125,897	-					
		執行率	459.5%	167.0%	129.4%	94.5%	102.8%	-					
総事業費	（事業費+人件費）	予算額	6,160	15,963	30,356	18,390	3,807	4,643					
		実績額	13,678	32,193	30,380	11,726	4,643	-					
		執行率	222.0%	201.7%	100.1%	63.8%	122.0%	-					
財源	受益者負担分	予算額	0	0	0	0	0	0					
	①	実績額	0	0	0	0	0	0					
	国・都からの補助金	予算額	111,220	1,332,751	1,805,910	189,005	42,820	15,912					
	②	実績額	842,054	1,502,460	1,962,669	174,419	38,272	-					
	③	執行率	757.1%	112.7%	108.7%	92.3%	89.4%	-					
	その他の補助金等	予算額	0	5,000	1,000	1,000	0	0					
		実績額	39,570	0	3,565	4,541	-	-					
		執行率	-	0.0%	356.5%	454.1%	-	-					
	特定財源	予算額	111,220	1,337,751	1,806,910	190,005	42,820	15,912					
	(①+②+③)	実績額	881,624	1,502,460	1,966,234	178,960	38,272	-					
		執行率	792.7%	112.3%	108.8%	94.2%	89.4%	-					
	差引：一般財源	予算額	3,710,494	1,652,212	1,191,800	497,893	285,748	219,579					
	(総事業費-特定財源)	実績額	2,150,802	526,405	577,470	389,587	248,751	-					
		執行率	58.0%	31.9%	48.5%	78.2%	87.1%	-					



特記事項

○結核対策については、結核患者医療費が見込みを下回ったため、扶助費が執行残となりました。また、肺がん検診と同時実施している胸部エックス線検査についても、受検者数が見込みを下回ったため、委託料が執行残となりました。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	結核対策 (審査協議会運営費含む)			104,661
	すぎなみ感染症患者等情報管理システムの構築			40,700
	H I V等性感染症対策			4,259
	その他 (その他感染症に関する普及啓発事業等)			6,863

取組成果	新型コロナウイルス感染症の対応時に活用したシステムを基に、新たにすぎなみ感染症患者等情報管理システムを構築・導入しました。これにより、患者等の管理、情報共有、データ集計などの業務が効率化され、今後起り得る新規・再興感染症への迅速な対応も可能になりました。 結核については、患者が最後まで治療できるよう患者支援に取り組んだ結果、高い治療成功率を維持することができました。 H I V等性感染症については、令和6年度から通常検査の検査項目に淋菌感染症を追加したことや、即日検査を実施して充実させた結果、受検者数の増加につながりました。 その他の感染症対策については、感染性胃腸炎予防対策として感染拡大リスクの高い高齢者・障害者・保育施設向けにリーフレットを作成し、配布しました。

課題の分析、方向性・改善策 (C h e c k · A c t i o n)

課題の分析	すぎなみ感染症患者等情報管理システムを導入したことにより、平時からのデジタル化を推進しました。今後はシステムを安定運用させ、新規・再興感染症が起きた際に迅速に対応することが必要となります。 杉並区の結核新規登録患者数の推移は令和4年：38人、令和5年：32人、令和6年：40人となり、近年の減少傾向から増加に転じております。特に結核まん延国からの転入者が多く在籍する区内の日本語学校を対象に、検診を実施しています。また、結核患者が服薬を継続できるよう、阻害要因を評価し、患者の状態に応じた服薬支援を行っています。 H I V等性感染症については、感染者の早期発見が重要であるため、検査体制を充実させて受検者数を増やす必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	すぎなみ感染症患者等情報管理システムを活用し、結核やその他感染症の患者等の管理、情報共有、データ集計が可能になりました。これにより、利便性が向上し、業務の効率化につながりました。 結核対策は、結核まん延国からの転入者が多く在籍する区内の日本語学校を対象に、検診を実施しています。また、結核患者が服薬を継続できるよう、阻害要因を評価し、患者の状態に応じた服薬支援を行っています。 H I V等性感染症は、月2回のH I V、梅毒、淋菌、クラミジアの検査を継続実施するほか、1・2月の東京都H I V検査・相談月間や世界エイズデーの取組に合わせ、H I V、梅毒の即日検査の実施を予定しています。 感染症予防については、高齢者施設にポールペン、事業所にタオルを配布し、結核予防に関する知識の啓発を実施しました。
事業の方向性・改善策	すぎなみ感染症患者等情報管理システムを活用し、患者管理や情報共有等の日常業務の効率化を図るほか、今後新規・再興感染症が起きた際に迅速に対応できるよう、システムを安定運用していきます。 結核対策は、長期的かつ継続的な取組が必要なため、法律に基づく検診を着実に実施するとともに、今後さらに増加すると思われる外国出生者への検診を継続実施していきます。また、結核患者に対する服薬支援について、確実に服薬し治療を完遂するよう、きめ細やかな支援を行っていきます。 H I V等性感染症は、H I V、梅毒、淋菌、クラミジアの通常検査を継続実施するほか、東京都H I V検査・相談月間や世界エイズデーの取組に合わせ、普及啓発していきます。 感染症予防については、対象や方法を検討し、引き続き感染症予防に関する知識の普及啓発を実施していきます。

令和8年度の方針 (A c t i o n)

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	すぎなみ感染症患者等情報管理システムの運用に係る経費は、システム保守やライセンス料が継続してかかります。結核対策は、長期的に継続して取り組む必要があり、現在実施している対策を引き続き行っています。H I V等性感染症は、感染者の早期発見が重要であるため、検査の継続実施が必要です。以上の理由により、令和7年度と同程度の事業コストが見込まれます。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	すぎなみ感染症患者等情報管理システムを活用し、日常業務の効率化を図るとともに、新規・再興感染症が起きた際に迅速に対応できるよう安定運用していきます。 結核対策は、長期的に継続して取り組む必要があり、現在実施している対策を引き続き行っています。 H I V等性感染症は、感染者の早期発見が重要であるため、検査を継続実施していきます。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	新型インフルエンザ等対策					款 04	項 05	目 05	事業 003	整理番号	326
現担当課名	保健予防課					係名 感染症係	連絡先 4525	電話番号	昨年度 337	整理番号	
上位施策No・施策名	13	地域医療体制の充実					予算事業区分		既定事業		
事業開始	平成19年度	実行計画事業	分野 04	施策 13	計画事業 04		主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和6年度 担当課名	保健予防課					事業評価区分	一般				

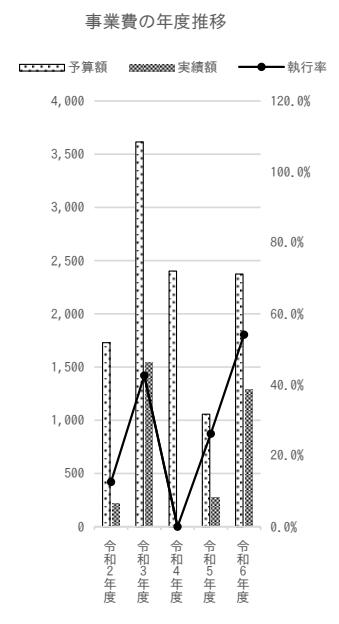
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行令
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段） ○適切な防疫措置等を実施し、急激な患者の増加を抑えるなど、医療の破綻や社会的混乱を防ぐ。 ○区民等が新型インフルエンザについての正しい知識のもと、予防に努めるとともに発生時に冷静な対応ができるようにする。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	普及啓発活動回数		回	計画 実績 達成率	1 2 200.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%
成果指標	医療関係機関との連絡会の回数		回	計画 実績 達成率	1 0 0.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%
	啓発動画の視聴回数		回	計画 実績 達成率	3,000 0 0.0%	3,000 3,736 124.5%	3,000 3,200 106.7%
分類	連絡会への医療機関の参加数		団体	計画 実績 達成率	6 0 0.0%	6 10 166.7%	6 12 200.0%
	分類						

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
事業費	千円	予算額	1,729	3,615	2,402	1,057	2,374	2,241
		実績額	218	1,540	0	277	1,285	-
		執行率	12.6%	42.6%	0.0%	26.2%	54.1%	-
人件費	千円	予算額	6,103	5,952	5,840	5,823	17,579	10,609
		実績額	5,952	5,840	5,823	5,860	4,278	-
		執行率	97.5%	98.1%	99.7%	100.6%	24.3%	-
上記以外の職員	千円	予算額	0	0	0	0	0	-
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
(事業費+人件費)	千円	予算額	7,832	9,567	8,242	6,880	19,953	12,850
		実績額	6,170	7,380	5,823	6,137	5,563	-
		執行率	78.8%	77.1%	70.7%	89.2%	27.9%	-
財源	千円	受益者負担分①	0	0	0	0	0	-
		国・都からの補助金②	59	0	0	0	638	20
		その他の補助金等③	0	352	0	0	0	-
特定財源	千円	特定財源(①+②+③)	0	0	0	0	0	-
		差引：一般財源(総事業費-特定財源)	7,773	9,567	8,242	6,880	19,315	12,830
		執行率	79.4%	73.5%	70.7%	89.2%	28.8%	-



特記事項

○杉並区感染症予防計画に基づき防護服やN95マスクなどの防疫用備蓄品を購入し、備蓄の強化を図ったため増加しました。普及啓発活動についても、令和5年度に作成した啓発動画を引き続き公開することとしたため、執行残となりました。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	備蓄品の購入（防護服等の購入）			985
	保健所職員及び I H E A T 要員の訓練の実施	2	回	190
	その他（ 消耗品の購入等)			110

取組成果	杉並区新型インフルエンザ等対策関係機関連絡会を開催し、医師会・薬剤師会・医療機関等との連携の更なる強化を図りました。 杉並区感染症予防計画をより具体化した健康危機対処計画を策定しました。また、I H E A T 要員（保健所職員を含む）を対象とした研修や実践型訓練を実施し、平時からの体制強化に取り組みました。 防疫用備蓄品を計画的に購入することとし、防護服やN95マスク等を購入し、防疫体制を強化しました。 普及啓発は、令和5年度に作成した社会福祉施設の職員向けの研修動画を引き続き区ホームページに公開し、施設での集団感染予防活動を行いました。
------	--

課題の分析、方向性・改善策 (C h e c k · A c t i o n)

課題の分析	新型コロナウイルス感染症流行期の対応を教訓に、今後も起こり得る新興・再興感染症に適切に対応するため、平時から新型インフルエンザ等対策関係機関連絡会を適宜開催するなど、医師会や医療機関等との更なる連携強化に努めすることが重要です。 健康危機発生時に即応できるよう、計画的に研修や実践的訓練を実施するほか、保健所各課と感染症等の動向に関する情報共有を図り、協力体制を整備する必要があります。また、I H E A T 要員の確保についても継続して取り組む必要があります。 防疫用備蓄品は、杉並区感染症予防計画に基づき、必要な物品等の選定や確保数を精査し、計画的に購入することが必要です。 今後も起こり得る新興・再興感染症の流行を踏まえた一般区民向けの啓発活動が必要です。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	7月に新型インフルエンザ等対策関係機関連絡会を開催し、医師会や医療機関等と連携協力体制の確保を図りました。 杉並区感染症予防計画に基づき、8月に保健所職員を対象とした防護服着脱訓練を実施しました。9月と10月にI H E A T 要員（保健所職員を含む）を対象とした感染対策の基礎知識や積極的疫学調査の研修を開催する予定です。 I H E A T 要員については、専門職への働きかけの結果、9名から21名に登録者が増員しました。 防疫用備蓄品は、必要な物品等の選定や確保数を精査し、令和8年1月に購入を予定しています。 一般区民向けの啓発活動については、新型コロナウイルス感染症をはじめとした呼吸器感染症の感染予防策について広報で発信する予定です。
事業の方向性・改善策	平時から新型インフルエンザ等対策関係機関連絡会を適宜開催し、医師会や医療機関等との更なる連携強化を図ります。 健康危機発生時に即応できるよう、平時から保健所各課の連携をより一層強化し、I H E A T 要員（保健所職員を含む）を対象とした研修や実践的訓練を計画的に実施します。 防疫用備蓄品は、必要な物品等の選定や確保数を精査し、計画的に備蓄していきます。 杉並区新型インフルエンザ等対策行動計画について、令和8年度の改定に向けて取り組み、改定後は本計画に基づき、予防対策を図っていきます。

令和8年度の方針 (A c t i o n)

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	新型インフルエンザ感染症等の新興・再興感染症の予防対策として、杉並区感染症予防計画や健康危機対処計画に基づき、平時から研修や実践的訓練の計画的な実施、防疫用備蓄品の確保、医療機関等との連携など防疫体制の強化に取り組む必要があります。また、区ホームページや広報を活用した情報発信や普及啓発などの感染症対策を推進していきます。以上の理由により、令和7年度と同程度の事業コストが見込まれます。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	I H E A T 要員（保健所職員を含む）を対象とした研修や実践的訓練の実施方法を検討するほか、防疫用備蓄品の備蓄数を精査します。 健康危機発生時に即応できるよう、I H E A T 要員の確保のための働きかけを継続して行います。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	生活衛生課分室の維持管理					款 04	項 05	目 06	事業 008	整理番号	328
現担当課名	生活衛生課					係名	衛生検査係	連絡先	4514	昨年度	339
上位施策No・施策名	13 地域医療体制の充実					予算事業区分		電話番号		整理番号	
事業開始	昭和56年度		分野	04	施策	13	計画事業				
令和6年度 担当課名	生活衛生課					事業評価区分				施設維持管理	

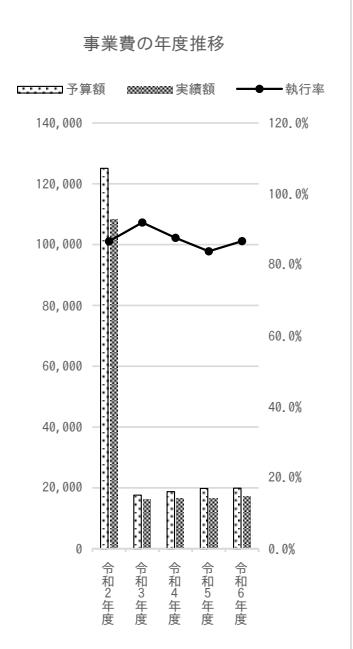
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 地域保健法 食品衛生法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段) ○施設、設備、機器を適正に保守管理し、正確な検査を実施するとのできる環境を整備する。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	計画						
	実績						
成果指標	達成率						
	計画						
	実績						
分類	達成率						
	計画						
	実績						
分類	達成率						

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	125,084	17,615	18,752	19,806	19,899
		実績額	108,368	16,195	16,430	16,602	17,251
		執行率	86.6%	91.9%	87.6%	83.8%	86.7%
人件費	千円	予算額	30,846	9,160	9,133	9,140	9,309
		実績額	34,584	9,133	9,140	9,309	9,388
		執行率	112.1%	99.7%	100.1%	101.8%	100.8%
上記以外の職員	千円	予算額	6,160	3,628	3,675	3,678	3,807
		実績額	7,256	3,675	3,678	3,807	4,643
		執行率	117.8%	101.3%	100.1%	103.5%	122.0%
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	162,090	30,403	31,560	32,624	33,015
		実績額	150,208	29,003	29,248	29,718	31,282
		執行率	92.7%	95.4%	92.7%	91.1%	94.8%
財源	千円	受益者負担分 ①	0	0	0	0	0
		国・都からの 補助金 ②	0	0	0	0	0
		その他の 補助金等 ③	0	0	0	0	0
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	0	0	0	0	0
		実績額	74,878	0	0	0	0
		執行率	-	-	-	-	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	162,090	30,403	31,560	32,624	33,015
		実績額	75,330	29,003	29,248	29,718	31,282
		執行率	46.5%	95.4%	92.7%	91.1%	94.8%



特記事項

○執行残の理由：料金高騰に対する国の負担軽減策等により、電気料金が想定を下回ったことで光熱水費に執行残が生じました。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	施設保守管理委託	1	所	6,784
	光熱水費の支出	1	所	3,049
	維持管理	1	所	6,665
	施設修繕	8	件	753
	その他 ()			0

取組成果	定期的に施設の保守点検を行うとともに、不具合が発生した際には適宜修理を行うことにより、設備及び機器等を良好な状態に維持しました。
------	--

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	施設・設備等の保守点検を計画的に実施するとともに、自動火災報知設備及び電話設備等の交換修繕を行うなど、必要な修理及び劣化抑制対策を実施しています。年度末までの予算執行率は90%を超える見込みです。
事業の方向性・改善策	検査体制を維持、強化し、迅速かつ正確な検査を実施するため、計画的に施設・設備等の保守点検を行うとともに、施設・設備等の老朽化等による不具合への適時適切な対応を行います。

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	施設全体の経年劣化に伴う修理費用の需用が見込まれます。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	検査体制を維持、強化し、迅速かつ正確な検査を実施していくため、今後も計画的に施設・設備等の保守点検を行うとともに、老朽化等による不具合が発生した際には適時適切に対応していきます。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	在宅医療・介護連携推進					款 04	項 02	目 02	事業 001	整理番号	573	
現担当課名	在宅医療・生活支援センター					係名	在宅医療・介護連携推進係		連絡先	4383	昨年度 整理番号	592
上位施策No・施策名	13	地域医療体制の充実					予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成23年度	実行計画事業	分野	04	施策	13	計画事業	03				
令和6年度 担当課名	在宅医療・生活支援センター					事業評価区分	一般					

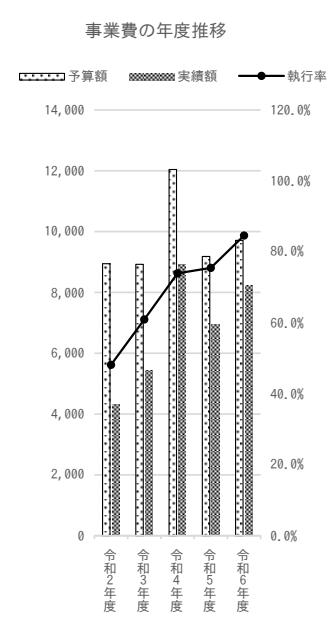
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等
在宅療養者及び医療・介護の関係者	杉並区在宅医療推進連絡協議会設置要綱 杉並区在宅医療・介護連携推進事業実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)
○在宅療養者が住み慣れた地域で安心して医療を受けられるように、在宅医療と介護の連携を推進する。	○区及び関係機関による在宅医療地域ケア会議や在宅医療推進連絡協議会のほか、医療・介護の関係者を対象とした在宅医療推進多職種研修や在宅医療推進フォーラムを開催し、在宅医療と介護の連携を推進する。 ○在宅医療相談調整窓口を設置し、区民及び医療・介護の関係者から在宅医療に関する相談を受け付ける。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

	指標名	指標説明	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	在宅医療地域ケア会議の開催回数	全体会を含む	回	計画	21	21	15	15
				実績	12	15	15	-
				達成率	57.1%	71.4%	100.0%	-
成果指標	在宅医療相談調整窓口の開設日数		日	計画	243	243	243	243
				実績	243	243	243	-
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標	在宅医療地域ケア会議の参加者数	全体会を含む	人	計画	743	743	970	970
				実績	752	959	901	-
				達成率	101.2%	129.1%	92.9%	-
分類 行政サービス成果指標	在宅医療相談調整窓口の相談件数		件	計画	500	500	400	400
				実績	344	282	292	-
				達成率	68.8%	56.4%	73.0%	-

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
事業費	千円	予算額	8,944	8,924	12,042	9,183	9,712	12,390
		実績額	4,308	5,439	8,905	6,932	8,217	-
		執行率	48.2%	60.9%	73.9%	75.5%	84.6%	-
人件費	千円	予算額	9,154	8,928	16,686	16,636	16,742	17,112
		実績額	14,880	16,269	18,300	17,579	17,112	-
		執行率	162.6%	182.2%	109.7%	105.7%	102.2%	-
上記以外の職員	千円	予算額	3,388	3,991	1,838	1,839	2,665	3,250
		実績額	3,991	4,043	1,839	2,665	3,250	-
		執行率	117.8%	101.3%	100.1%	144.9%	122.0%	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	21,486	21,843	30,566	27,658	29,119	32,752
		実績額	23,179	25,751	29,044	27,176	28,579	-
		執行率	107.9%	117.9%	95.0%	98.3%	98.1%	-
財源	千円	受益者負担分 ①	0	0	0	0	0	0
		国・都からの 補助金 ②	5,165	5,154	7,505	5,700	5,609	7,155
		その他の 補助金等 ③	2,487	4,267	5,694	4,401	6,652	-
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	2,026	1,879	2,625	2,069	2,153	2,821
		実績額	1,819	1,171	1,993	1,610	1,849	-
		執行率	89.8%	62.3%	75.9%	77.8%	85.9%	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	7,191	7,033	10,130	7,769	7,762	9,976
		実績額	4,306	5,438	7,687	6,011	8,501	-
		執行率	59.9%	77.3%	75.9%	77.4%	109.5%	-



特記事項

○令和6年度は、印刷費用の高騰により事業費が増加しました。
○杉並区がん療養リーフレットの内容の改定がなったため、令和6年度は発行を見送ったことから、執行率が90%未満となりました。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	在宅医療地域ケア会議の開催 (全体会1回を含む)	15	回	2,199
	在宅医療推進連絡協議会の開催 (普及啓発・研修部会1回等を含む)	4	回	379
	在宅医療推進多職種研修の実施 (難病研修2回を含む)	4	回	167
	在宅医療推進フォーラムの開催	1	回	338
	その他 (在宅医療相談調整窓口のリーフレット作成等)			5,134

取組成果	医療・介護の関係者による在宅医療地域ケア会議を15回開催し、カスタマーハラスマント等について意見交換を行いました。また、精神疾患や難病等をテーマとした在宅医療推進多職種研修を4回実施し、ケアマネジヤーや看護師、保健師をはじめさまざまな職種の医療・介護関係者が計164名参加しました。さらに、在宅医療推進フォーラムには131名の参加があり、在宅医療の重要性について区民等へ普及啓発を図ることができました。そのほか、在宅医療相談調整窓口では292件の相談を受け付け、医療機関との調整や情報提供を行いました。
------	---

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	<p>高齢者人口の増加に伴い、在宅医療のニーズが高まっており、在宅療養者が安心して医療を受けられるように、在宅医療と介護の連携を強化していく必要があります。</p> <p>在宅医療相談調整窓口の相談件数は、ケア24への周知活動を行い、より相談がつながったことにより、前年度よりも増加しました。</p> <p>在宅医療地域ケア会議の参加者数は、昨年度に比べ減少していますが、令和4年度以前の数値に比べて参加者数も安定して増えています。今後も地域包括ケア推進員と連携し、地域の関係者への呼びかけを行い、参加者が増加するように取り組みます。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	<p>在宅医療地域ケア会議の全体会を4月に開催し、令和7年度の活動方針等を検討しました。区内7圏域毎の在宅医療地域ケア会議については、8月から10月と12月から2月頃に各1回ずつ開催し、圏域毎の課題等について多職種の関係者間で議論する予定です。</p> <p>また、在宅医療推進連絡協議会を7月から8月にかけて計3回（普及啓発・研修部会1回及び認知症施策推進会1回を含む。）開催し、医療と介護の関係者間の連携強化を図りました。</p> <p>なお、8月末時点（7月申請分まで）での在宅医療相談調整窓口の相談件数は、130件となっています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>在宅医療地域ケア会議や在宅医療推進連絡協議会、医療・介護関係者を対象とした在宅医療推進多職種研修及び在宅医療の普及啓発を図るための在宅医療推進フォーラムを前年度と同様に開催します。</p> <p>今年度は、在宅医療地域ケア会議や在宅医療推進多職種研修の開催時期を調整することで、より多くの職種の医療・介護関係者が参加しやすい形とし、在宅医療と介護の連携をさらに強化していきます。</p>

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	縮小
I. 事業コストの方向性の理由	事業内容に大きな変化は無いものの、令和7年度のコスト拡充の要因となっていた、3年に一度実施する「在宅療養ブック」の全面改訂については行わないことから、相対的に経費は縮小します。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
II. 事業の改善の方向性の理由	参加者からの意見等を反映し、在宅医療地域ケア会議や在宅医療推進多職種研修の開催時期を調整することで、より多くの職種の医療・介護関係者の参加しやすい形とし、在宅医療と介護の連携をさらに強化していきます。